

提出書類

1. 障がい等を理由とする修学支援相談票（様式 1）

障がいの状況について、事前に記入が可能な場合には記入の上、窓口にご持参ください。記入が難しい場合には、障がい学生支援センターがサポートします。

この用紙は、「障がい等を理由とする修学支援申出書（様式 2）」の添付資料として活用しますが、「障がい等を理由とする修学支援申出書（様式 2）」の「障がいの状況」欄に記入可能な場合には、省略することがあります。

2. 障がい等を理由とする修学支援申出書（様式 2）（※年度毎に要提出）

合理的配慮の必要性を申し出るため（社会的障壁の除去が必要である旨の意思表示）の書類です。担当者と相談したうえで記入していただきます。

「障がいの状況」欄に「障がい等による修学支援相談票（様式 1）」を添付しない場合には、障がい学生支援センターが記入内容を一緒に考えます。

3. 申請する合理的配慮の必要性が客観的に説明できる資料

次のいずれかの資料、もしくは資料を組み合わせ、ご準備ください（初回相談の際に、必要な資料を決めることもできます）。

- ・ 障害者手帳
- ・ 本学指定の**医師意見書**（適切な医学的診断基準に基づいた診断書や意見書であれば、本学書式に限りません。ただし、ご提出いただいた資料では合理的配慮の必要性が不明確な際には、本学指定の医師意見書の提出をお願いする場合があります。）
- ・ 標準化された心理検査等の結果
- ・ 学内外の専門家の所見
- ・ 高等学校・特別支援学校等の大学等入学前の支援状況に関する資料等

4. 障がい等を理由とする受講上の配慮申請書（様式 3）

授業中に希望する合理的配慮の内容をご記入の上、学期毎（追加申請は応相談）に提出していただきます。初回相談の場合は、障がい学生支援センターが学部等と連携しながら一緒に記入内容を考えます。

2 度目以降の申請で、記入内容（前年度と同様）が明らかな場合には、事前にご連絡ください。

5. 障がい等を理由とする定期試験の配慮申請書（様式 4）

定期試験において希望する合理的配慮の内容をご記入の上、期限までに提出していただきます。初回相談の場合は、障がい学生支援センターが学部等と連携しながら一緒に記入内容を考えます。

2 度目以降の申請で、記入内容が明らかな場合（前年度と同様）には、事前にご連絡ください。

※提出期限：定期試験時間割発表後 1 週間以内に提出

令和 年 月 日

障がい等を理由とする修学支援相談票

【この内容をもとに障がい学生支援センターに相談後、必要に応じて「修学支援申出書」「配慮申請書」等を提出する流れになります。可能な範囲で記入してください。】

1. 申出者氏名・所属・連絡先

所属	学部 研究科		学科 専攻 等	年
ふりがな	学籍番号			
氏名	生年月日		平成	年 月 日
学生 連絡先	住所	〒		
	電話番号			
	e-mail			
緊急 連絡先 (保護者等)	住所	〒		
	電話番号	氏名	(本人との 続柄)	

2. 障がいの状況・目標・課題等について(欄内に記入しきれない場合は、別紙添付可)

心身の状態	生活・活動上の制限・困難さ
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状態にかかわる診断名・障がい名等がある場合や、過去に大きなケガ・病気等をしたことがある場合は記入。 ・その他、からだの状態、こころの状態等を自分の言葉で記入してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「動く」「食べる」「排泄する」「眠る」「みる」「きく」「話す」「読む」「書く」等、生活の状況や活動上の困難さを感じていることについて記入してください。
修学上の困難さ	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在または今後想定される大学での修学環境において、学習上・学生生活上、困難に感じていることについて、「どのような授業で」「どのようなときに」「どのようなことが困難になるか」等、具体的に記入してください。 	

<p>これまでに(高校在学中等)までに受けてきた支援・配慮・調整等</p>
<p>困難さ・課題解決に向けて、大学にお願いしたいこと</p>

3.その他

現在受けている他機関からの支援・治療等	医師等からの指導・助言内容等
<p>自らが大切にしたい考え方・自らの強み・知っておいてほしいこと等</p>	
<p>教職員や支援者等に気を付けてほしいこと・その他に相談したいこと等</p>	

記入者署名

代筆の場合、本人との関係 ()